

国立民族学博物館

「手話言語学に関する講義の実施およびシンポジウム・セミナーの開催」事業

助成：公益財団法人 日本財団

Supported by  日本 THE NIPPON
財団 FOUNDATION

手話言語学勉強会

主催 国立大学法人筑波技術大学障害者高等教育研究支援センター

日時 平成 25 年 11 月 15 日 (金) 午後 1 時～2 時 30 分

会場 筑波技術大学天久保キャンパス 講堂 (つくば市天久保 4 丁目 3-1 5)

参加費 無料 (情報保障あり：手話通訳・パソコン筆記)

講師 市田泰弘 (国立障害者リハビリテーションセンター学院/国立民族学博物館)

テーマ 「日本手話の基本文法 -認知言語学の視点から-

この度、国立民族学博物館のご協力を得て、手話教育の基礎となる「手話言語学」への理解を深めるための勉強会を開催することに致しました。日本手話の文法研究に長年携わっておられる市田泰弘先生をお招きして、認知言語学の視点から日本手話の基本文法を解説していただきます。手話言語学にご関心をお持ちの皆さまの多数のご来場を心よりお待ちしております。

なお、筑波技術大学は大学院に情報アクセシビリティ専攻を設置し、手話教育コースを開設するための準備を進めています。



市田泰弘 (いちだやすひろ)

国立障害者リハビリテーションセンター学院手話通訳学科主任教官・国立民族学博物館特別客員教授・東京大学非常勤講師 専門：手話言語学

おもな著書：『はじめての手話』(共著・日本文芸社)、『ろう教育と言語権』(分担執筆「言語学からみた日本手話」・明石書店)

おもな論文 "Introduction to Japanese Sign Language: Iconicity in Language".

(Studies in Language Sciences 9)、「日本手話の音韻論と数詞体系」(『手話コミュニケーション研究』第 57 号)、「Sign and speech: amodal commonality in left hemisphere dominance for comprehension of sentences」.(Brain 誌・共著)、「手話の言語学」(『月刊言語』(大修館書店) 2005 年 1 月号～12 月号)

1962 年東京生まれ 立教大学大学院博士課程前期課程教育学専攻修了 (文学修士)

お問合せ 筑波技術大学 大杉研究室 email: osugi@a.tsukuba-tech.ac.jp